

科目名	科学技術文章	英文表記	Science and Technology Expression	平成23年3月11日					
科目コード	5002								
教員名：澤井 万七美				作成					
対象学科／専攻コース		学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間		
全学科		5年	必	履修	2単位	講義	前期		
目標及び評価方法	目標項目			評価方法及びその割合					
	①科学技術文章のための表現スキルの幅を広げる。 ②理系学生として必要な言語能力および自律の精神を向上させる。			①定期試験・小テストで評価する。(50+10%) ②授業内の演習課題の内容・提出状況・授業への参加状況で評価する。40(%)					
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
	◎	○		○	JABEEプログラム教育目標	B-3,C-3	B-2,C-1	B-1,C-4	B-2,C-2
授業概要、方針、履修上の注意	講義と演習の組み合わせで進めていく。 授業内での演習課題については、自己添削の状況も評価の対象とする。								
教科書・教材	『知的な科学・技術文章の書き方』（コロナ社）*前年度より継続して使用 教員作成資料								
授 業 計 画									
回次	授 業 項 目	時間	授 業 内 容				予 習 項 目		
1	ガイダンス	2	授業の進め方／就職・進学のために必要なこ						
2	科学技術文章表現の復習	2	4年次の復習と自己課題の確認						
3	科学技術論文の構成(1)	2	卒業論文への展望						
4	科学技術論文の構成(2)	2	学術論文の基本的な体裁						
5	科学技術論文の表現技法	2	さまざまな表現テクニック(1)						
6	科学技術論文の表現技法	2	さまざまな表現テクニック(2)						
7	科学技術論文の諸要素	2	論文題目・脚注・付録・謝辞など						
8	作図・作表(1)	2	図の種類とその効果						
9	作図・作表(2)	2	表の種類とその効果						
10	論文発表作法(1)	2	投稿ルールと校閲システム						
11	論文発表作法(1)	2	プレゼンテーションの種類と技術						
12	課題文作成(1)	2	与えられた大きなテーマから自己の問題を絞り						
13	課題文作成(1)	2	素材・構成を考える						
14	課題文作成(1)	2	文章化する						
15	まとめ	2	これまで学んだ内容のまとめ						
期末	期末試験	[2]							
学習時間合計		30	実時間				25		
学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など） 記入不要→この科目は履修形態のため、この欄の記入は不要									

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(50分=1、100分=2)